

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績		
【法人名】 株式会社秩父開発機構 【中期経営計画の期間】 平成30年度～令和4年度	目標	秩父ミュージズパーク利用者満足度80%以上	埼玉県長瀬射撃場無事故管理運営の継続	会社経営の黒字体質継続
	各年度の実績	【平成30年度実績】 84.7% 【令和元年度実績】 86.7% 【令和2年度実績】 90.1% 【令和3年度実績】 93.3% 【令和4年度実績】 90.3%	【平成30年度実績】 事故件数0件 【令和元年度実績】 事故件数0件 【令和2年度実績】 事故件数0件 【令和3年度実績】 事故件数0件 【令和4年度実績】 事故件数0件	【平成30年度実績】 当期純利益 3,880千円 繰越利益剰余金 14,936千円 【令和元年度実績】 当期純利益 168千円 繰越利益剰余金 15,105千円 【令和2年度実績】 当期純利益 ▲3,418千円 繰越利益剰余金 11,687千円 【令和3年度実績】 当期純利益 ▲1,291千円 繰越利益剰余金 10,395千円 【令和4年度実績】 当期純利益 ▲866千円 繰越利益剰余金 9,528千円
	法人による自己評価	<p>秩父ミュージズパークでは、新型コロナウイルス感染症対策を実施しつつ、施設管理からイベント事業まで幅広く業務を実施してまいりました。</p> <p>主な整備事業としては、地元園児達とのモミジ苗植栽作業、インクルーシブ遊具の導入、ピクトグラムを使用した案内板の設置、ホテルの生息地域の環境保全事業などを行いました。</p> <p>情報発信としては、ホームページとSNSの活用、ポスターの作製、テレビ・新聞への情報提供、「ちちぶエフエム」の提供番組などを通じ、幅広くPRIに努めました。</p> <p>自主事業では、3年ぶりの「ロックコンサート」や新たに「音楽療法コンサート」を開催したほか、公園インストラクター事業では、「ホテル観賞のタベ」などの15の自然体験イベントを行っております。</p> <p>飲食物の営業関連では、キッチンカーの出店機会を増やすなど、利用者ニーズの対応と売上増加に努めました。</p> <p>誘致イベントについては、ジャズフェスティバルやボイスカウトの大会など、例年を上回る大規模イベントが実施されております。</p> <p>このような事業展開の結果、利用者満足度においては90.3%となり経営目標の80%以上を達成することができました。</p>	<p>設置目的である「射撃技能の向上と銃による事故の防止及び射撃競技の発展」の実現のため、新型コロナウイルス感染症対策も実施しつつ、安全と危機管理意識の向上と適切な場内整備と施設管理に努め、銃・火薬類による事故件数ゼロを継続しております。</p> <p>利用状況としては、第7波と言われるコロナ感染者が拡大した夏場には、利用が自粛傾向にあったため、年間利用者数は10,609人と前年度からは1,639人増加したものの、目標の13,000人は達成できませんでした。</p> <p>自主事業では、従来の教習射撃、技能講習のほか、コロナ禍で2年間中止していた、「ビームライフル初心者講習会」を再開しております。また、令和4年度から新たに猟銃等販売事業と空気銃の空気充填サービスを開始しました。</p> <p>その他の事業としては、埼玉県より「初級者研修会」開催業務を受託し、講義と実技からなる研修会を3回実施しております。</p>	<p>収支では、秩父ミュージズパークにおいて例年以上に大規模イベントが開催できたことにより、事業収入は昨年と比較し増加しております。支出においては、全体的に電気料金をはじめとする光熱費、燃料費等の値上がりがありましたが、長瀬射撃場においては、埼玉県からエネルギー価格高騰分に対する委託料増額措置があり、赤字幅の軽減となっております。</p> <p>このような結果、売上高合計205,554千円、営業利益▲10,609千円、経常利益▲9,229千円、当期純利益▲866千円となり、利益剰余金は9,528千円となっております。</p>